



ご報告



新人看護職員が68名入職しました

看護部 部長 かんだ まりこ 神田 眞理子

平成29年度は、高度外傷センターの拡充、HCU(ハイケアユニット)立ち上げ、手術室増床という状況の中で、新人看護職員(看護師66名、助産師2名)を迎えてスタートしました。

4月3日からの入職時集合研修は、病院の概要、看護部の概要、チーム医療における他部門紹介から始まり配属部署の発表がありました。社会人・職業人としてのマナー研修も実施し救急蘇生法、採血、点滴管理などの実技演習も実施しました。

最終日には、健康管理についての産業医の先生からの講義があり、挨拶が人間関係の基本であること、よく働きよく眠ること、強靱な心よりしなやかな心を目指すことなどの大切なことを学ぶことができました。

新人看護職員は、最初は緊張の面持ちでしたが、自己紹介や実技演習などを行う中で徐々に緊張も和らぎ、5日間にわたり、社会人、組織人としての自覚を高め、新たな一歩を踏みだしました。



緊張した入職初日です



ご報告



12カ所同時配信！ 地域医療教育ファカルティ・ディベロップメントを開催しました

地域医療支援学講座 准教授 さの ちあき 佐野 千晶

島根大学医学部では、「オールしまね」と銘打って島根県全体のリソースを活用し、医師育成に取り組んでいます。今回は、職員の教育力の向上を目的として、地域医療教育ファカルティ・ディベロップメント(FD)を3月3日(金)に開催しました。地域に貢献する医師を育てるために、どういった教育に取り組むのかといった壮大なテーマをとりあげてみました。島根県内の医学生の地域医療実習受け入れ医療施設 12カ所にテレビ会議システムを利用してリアルタイム配信を行いました。この10カ所以上のテレビ会議同時配信は、システム導入以来初めての試みでした。基調講演には、以前より島根大学医学部の地域医療教育についてご指導賜っている自治医科大学地域医療センター長の梶井英治先生にご講演して頂きました。続いて地域医療教育の取り組みについて、島根大学医学部(佐野)、隠岐島前病院(福田聡司先生)、益田赤十字病院(岡本栄祐先生)の3施設から発表がありました。梶井先生のご講演では、今や地域医療の充実は地域・時代の必然であること、医師として求められる基本的な資質が時代とともに少しずつ形を変えてきているなど、医学教育に有益なお話がありました。医師の養成は、大学の教職員や医師のみならず、医療現場のスタッフ、事務職員、行政等の関係者、地域住民に支えられてこそ大きく前進します。皆様の御協力を何卒お願い申し上げます。

参加者数:81名

配信施設:公立邑智病院、益田赤十字病院、済生会江津総合病院、大田市立病院、安来第一病院、出雲総合医療センター、飯南町立飯南病院、益田医師会病院、隠岐島前病院、松江市立病院、浜田医療センター、隠岐病院以上の12施設です。





ご報告

松江市民フォーラム2017春を開催！

3月25日(土)、松江テルサにて松江市民フォーラム 2017 春「島根大学病院の今と最新治療」を開催しました。このフォーラムは、松江市民の方々に当院の今と最新治療を知っていただき、健康の維持に役立てていただきたいとの思いで企画したものであり、昨年10月に続いて2回目の開催となりました。



当日は来場者で会場が満席になり、当院を代表する3つの先進的な治療法について熱心に聴講いただきました。講演後の質疑応答では、講演内容に関する質問だけでなく、当院への期待やご要望など、多くの貴重なご意見を頂きました。また、前回の参加者から薦められて今回参加したなどのご意見もあり、あらためて定期的に開催する意義を感じました。

松江市民フォーラムは、春と秋の年2回開催し、次回は今年10月を予定しています。

講座内容

1 現代に増える腸の病気
IBD (炎症性腸疾患) について



IBD センター長
准教授 石原 俊治

2 若い人に増える子宮頸癌
その予防法と最新治療



産科・婦人科
教授 京 哲

3 高齢化社会に増える心臓の病気
大動脈弁狭窄症 について



循環器内科
教授 田邊 一明



ご報告

初期臨床研修をスタートしました

おにがた かずみち
卒後臨床研修センター センター長 鬼形 和道

本年も桜の季節に、医科および歯科研修医合わせて19名が当院で初期臨床研修をスタートしました。医師法あるいは歯科医師法第16条に規定する臨床研修となり、医科は2年間、歯科は1年間の初期研修を行います。この研修を修了して初めて保険医として活躍できるようになります。



研修医会の様子

辞令交付式に漂う凛とした空気は、彼らの船出に似合っていると思います。緊張の中にも無限大の可能性を秘めた若者たち、彼らをサポートする私たち卒後臨床研修センターのスタッフの気持ちも引き締まります。当センターでは、「専門研修を見据えた初期臨床研修」をコンセプトに、シームレスな初期～専門研修プログラムを提供する所存です。

初期研修中のストレスは決して小さなものではありません。どうか彼ら研修医を温かく見守りながらも、時々叱咤激励をいただければ幸いです。島根で若手医師と一緒に育ててゆきましょう。



オリエンテーションの様子





ご報告



入院児童等患者家族宿泊施設「だんだんハウス」オープンしました！

4月17日(月)、小児患者さんに付き添うご家族のご要望にお応えし、医学部会館北側に「だんだんハウス」がオープンしました。

当院は、現在工事中の高度外傷センターの竣工で、2011年から開始しました病院再開発事業は完了となります。施設・設備を充実することは大学病院の使命を果たす上で重要なことですが、高度な医療を提供する傍らで、長期入院を余儀なくされる患者さんに付き添われるご家族への配慮のことが解決されていませんでした。特に、小児がん、先天性心疾患では入院期間が長くなり、付き添われるご家族の負担は大きく、小児患者さんが情緒不安定になりがちとなることへの対応として、ファミリーハウス的な宿泊施設が必要であると要望があり、このたび、当院が厚生労働省の入院児童等患者家族宿泊施設整備事業の補助対象となることが決まり、一部助成を受けオープンすることが出来ました。

この建物の外観は物語「赤毛のアン」の主人公アンが過ごしたGreen Gables(みどりの切妻屋根)をイメージし、室内には津和野町出身の画家安野光雅氏から寄贈いただいた絵をご覧いただけます。宿泊室は車椅子利用可能なツイン1室、洋室ツイン2室、和室2室と共有スペースとしてキッチン等を備えた多目的室があります。小児患者さん、ご家族の皆さんにゆっくり寛いで気分転換を図っていただけるように環境に十分配慮し、料金も低く設定しました。

今後も、患者さんの視点に立った医療が提供できるように、患者さん、ご家族のお声に耳を傾け、より良い病院となるように真摯に取り組んでいきたいと思っております。



●利用料金

区分	宿泊利用料 1泊1室(消費税込)
① 宿泊室 車椅子対応 (車椅子利用可能トイレ・シャワー有)	1,080円
② 宿泊室 洋室 宿泊室 和室 (トイレ、ユニットバス有)	890円

利用申込み 医療サービス課医事業務担当
TEL: 0853-20-2069



ご報告



島根大学医学部附属病院 経営懇談会を開催しました

医学部会計課 経営支援担当

平成29年4月27日(木) 島根大学医学部附属病院経営懇談会を開催しました。この会議は、本院の管理運営等に対して外部有識者からの意見をを得ることを目的として毎年1回開催しており、今年で10回目を数えます。

本会議には、外部有識者としてお招きした、星総合病院 理事長 星北斗氏、兵庫医科大学 副理事長 太城力良氏、広島大学病院 病院長 平川勝洋氏の3名と井川幹夫病院長及び副病院長をはじめとする本院関係者13名が出席しました。当日は、4月に開所した入院児童等患者家族宿泊施設「だんだんハウス」や、8月に稼働開始を予定している高度外傷センター棟建設予定地等の視察を行った後、懇談会を開催し、平成27年度開催の懇談会における提言に対する取り組みのほか、平成28年度の附属病院経営改善、診療体制整備、医療人育成と医師確保および患者サービス等の取り組みについて、幅広く活発な意見交換が行われ、多くの提言を頂戴するなど、大変有意義なものとなりました。

今回頂いた意見等も参考にし、地域住民や医療関係者の方々に、より一層信頼される病院となるよう努めてまいります。



高度外傷センター棟建設予定地の視察風景



懇談会風景





ご報告

「第10回 患者さんの視点に立った医療を考える委員会」を開催しました



平成29年4月13日(木)、「第10回 患者さんの視点に立った医療を考える委員会」を開催しました。この日は当委員会でも何度か話題になった、入院児童等患者家族宿泊施設「だんだんハウス」の竣工式と内覧会が行われ、委員の皆さんにも参加いただきました。

だんだんハウスについては、「以前委員会で『マクドナルドハウスのような施設があると良いですね。』と話題にしたことがありましたが、こんなに早く実現されるとも思っていなくて、とても驚いています。」「自分も泊まってみたいと思いました。」と皆さん好印象を持たれた様子でした。



要望として次のような意見もありました。「玩具の類がほとんどなかったの、自分が見学したもの比べて少し冷たい感じがしました。外泊許可の下りた子どもさんも一緒に泊まることがあると思うので、子どもが楽しい気持ちになれるような工夫がなされていると、なお良いと思いました。」



これに対し病院長からは、「当初玩具についても考えていましたが、話し合いが進んで行く中で変更し、今のイメージになりました。しかしご意見を伺って、玩具についても、この建物にふさわしいものを購入したいと思います。」との回答がありました。

最後に病院長から、この「だんだんハウス」の完成で、患者さんだけでなく、その家族の視点にも立った病院というものに、一層近づいてきたのではないかとのお話が語られました。



お知らせ

第14回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第14回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーを行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

平成29年

5月26日(金)

18:00~20:00

ギャラクシー(みらい棟 4F)

司会: 和足 孝之 (卒後臨床研修センター助教)

・レクチャー

『pitfalls of vital signs』

120分

※ 5月26日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 2単位です。

5月27日(土) 9:00~12:00

・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は26日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催: 島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 卒後臨床研修センター 0853-20-2006

